そえだまち議会だより

こんにちは議会です。



No.193
R8.11月発行

「音」で人と人をつなぐ
「楽」しい発見♪

ココみちょってね👀(コンテンツ)

地域活性化を支援 ―― 2ページ
認定 令和7年度決算 ―― 4ページ
町政を問う〜7人が登壇 ―― 6ページ

こんにちは議会です。 193号／R8.10月発行 ■発行／添田町議会 ■編集／広報広聴常任委員会 福岡県田川郡添田町大字添田2151番地 ☎0947(82)4001 FAX 0947(82)2869 ホームページ https://www.town.soeda.fukuoka.jp

みなさんとの架け橋 虹

このページはみなさんの声で作るページです。
議会傍聴(ぼうちょう)者に限らず、議会に対するご意見や議会だよりの感想などもお待ちしています。
メールやFAXでお気軽にお寄せください。

添田で発見👀!! ドラム教室


生徒の皆さん





♬〜♪〜 練習風景 〜♪〜♬

場　所　オークホール
日　時　毎週木曜18時〜20時
参加費　月額3,000円

練習はもちろん、発表会などもあり
楽しいこと間違いなし♬見学のみもOK!
気になる方はお気軽に参加を〜♪

編集後記

私は議員3期目、広報7年目の挑戦です。新たなチームで新たな思いで皆さんに喜んで読んでいただける議会広報紙を楽しく作っていきます。「見たい!」「読みたい!」「楽しみながら議会がわかる、町民と議会の架け橋になる「こんにちは議会です。」を目指します。(永沼)

広報広聴常任委員会

委員長　永沼　嘉代子
副委員長　杉本　義樹
委員　吉木　清文
委員　武貞　誉裕
委員　川面　紀文
委員　畠田　勝廣



子ども達にインタビュー



植木唯さん

＊ドラムを始めたきっかけは？
友達のドラム演奏を聴いたことがきっかけです。

＊ドラムの魅力を教えてください
自分が頑張りたい曲を楽しく練習できるところです。



宮崎泰成さん

＊ドラムを始めたきっかけは？
保育園の年長の時にドラムを叩いて楽しかったからです。

＊ドラムの魅力を教えてください
叩けば叩くほど迫力が伝わるところです。

ご意見・ご感想をお寄せください　FAX 82−2869　E-mail:gikai@town.soeda.fukuoka.jp

Fontworks UD Font ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

予算
地域活性化を支援

9月7日から16日までの10日間、9月定例会を開催しました。今回の議案は補正予算など16議案を審議し、いずれも可決しました。一般会計補正予算では、1億6678万円を追加し、総額78億6806万円としました。主な事業を紹介します。

補正予算の主な事業

事業名	金　額	事業内容
①デジタル社会推進積立金	3604万円	各施設のデジタル化に運用する積立金
②ローカル10,000プロジェクト	1200万円	空き家を使った古民家レストランに補助
③行政区運営費支援	547万円	物価高騰支援金を行政区に給付
④英彦山にぎわい滞留拠点整備	486万円	旧山の家を整備するための実施設計委託料
⑤移動販売車借上	60万円	販売場所を増やすため車を1台追加
⑥公有森林整備業務委託	1299万円	森林環境譲与税を活用し町有林を整備します
⑦水田農業担い手機械導入支援	173万円	県の事業を活用し、新規認定農業者の機械購入を一部支援
⑧平原川(中元寺)浚渫	226万円	平原川の浚渫を行う工事

質疑
委員会Q&A

①デジタル社会推進積立金

議員　基金の積立はどのくらいありますか。

課長　令和3年から積立を開始し、現在2億5645万円となりました。

議員　どのようなことに使いますか。

課長　現在は、デジタル推進のため、eスポーツイベント等を行っています。



盛り上がったSOEDA-LAN（旧添田小）



ひこちゃん

11/14.15開催のSOEDA-LANの情報はこちら

一口メモ

e-スポーツとは

電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉。

②ローカル10,000プロジェクト

議員　どこで営業するのですか。

課長　落合地区で、ジビエ・ヤマメなどの地元産食材を生かした古民家レストランを営業予定です。



ただいま改装中

一口メモ

ローカル10,000とは

地域の資源を活かした新しいビジネスを立ち上げる民間事業者に対して、自治体と国が連携して補助金を出す制度のこと。

くわしくはこちら

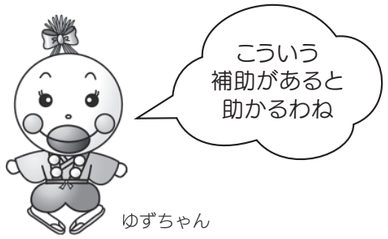
③行政区運営費支援

議員　行政区を支援する理由は何ですか。

課長　公民館の水道料金等、維持管理に苦慮しているという声があったためです。

議員　各行政区にいくら給付されますか。

課長　各行政区に一律12万円を支払い、その他に世帯数に応じて調整します。



ゆずちゃん

区長に聞きました



上落合一行政区　古谷区長



真木行政区　木下区長

④英彦山にぎわい滞留拠点整備

議員　この施設はビジターセンターとして運用するのですか。

課長　これは歓遊舎のビジターセンターとは違い、宿泊施設を兼ねた英彦山の観光案内・情報発信の役割も果たす施設の予定です。



宿泊できる施設に改修

⑤移動販売車借上

議員　車両や備品を町が準備し、販売労務費を委託料として支払うのですか。

課長　人件費・車両維持費・燃料費等を委託料として支払っています。

決議

福岡県議会の信頼回復と県政の正常化を求めることを決議しました。

同意

添田町教育委員会委員
古田浩治さん

同意

添田町監査委員
山本徳和議員



第2回臨時議会

7月22日に臨時議会を開催しました。議案は専決処分2件、同意1件を審議し、いずれも全会一致で可決しました。

くわしくはこちら

決　算

認定 令和7年度 決算

◆一般会計
◆国民健康保険事業勘定特別会計
◆後期高齢者医療特別会計
◆住宅新築資金等貸付事業特別会計
◆バス事業特別会計
◆水道事業会計

9月議会で特別委員会を設置し、審査を行いました。6会計の決算を審査し、全て認定しました。審査では各担当課に質疑応答を行い、今後の予算編成に活かすよう指摘しました。

財政課



決算審査特別委員会

町の財政は、大型事業の起債の償還が始まったことにより、財政調整基金などをはじめとする基金管理が、今後さらに厳しくなります。

指摘　限られた財源を効果的、効率的に活用し、健全な財政運営に努めること。

一口メモ

財政調整基金とは

財源不均衡を調整するため、積み立てておくもの。何かあったときに使えるお金。

令和7年度は約40億円あるが、今後は大型事業の起債償還が始まるため減少していく。

総務課

ふるさと納税は、米不足の影響により、返礼品の米が注目されたため寄附額が増加し、目標額以上の2億円を超える結果となりました。

指摘　目標額の達成は評価できる。今後も魅力ある返礼品の開拓に努め、寄附額を確保すること。



町で作られた新鮮な米や野菜

まちづくり課

リノベーション支援事業は、想定より多くの申請があり、効果的な執行ができました。

指摘　地域課題に対して有効な事業だが、事業内容が町民に伝わるように周知徹底を図ること。

防災管財課

公共施設維持

指摘　今年度は、公共施設総合管理計画の見直しを行うため、各施設の必要性も含めて適切な管理に努めること。

住民課



老朽化が進む旧警察官舎

税の徴収において、滞納者には、今後も調査を進め、徴収業務を推進していきます。

指摘　人口減少が進む中、町税等の減少はやむを得ないが、収納率の向上は評価できる。引き続き厳正・適正な徴収事務を継続すること。

福祉環境課

アンケート調査で、地域福祉計画策定や健康子育て福祉ゾーンに係るものは、回収率が3割程度でした。

指摘　多くの声を聴くためにも、さらなる回収率向上を目指すこと。

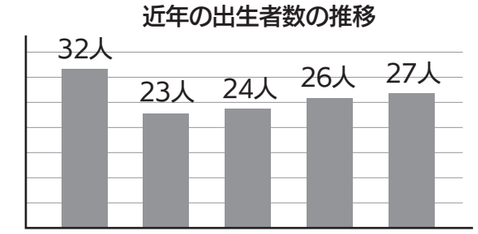
また、誰でも回答しやすいアンケートとなるよう工夫をすること。



健康子育て応援課

産後ケア事業は、利用者が前年度を上回り、一人当たりの利用回数も増え、利用者からは高い満足度を得ています。

指摘　本町の出生率は、年々低下している。今後も幅広くサービスの周知に努め、多くの子育て世帯の支援につなげること。



商工観光振興課

中島家住宅は今後、指定管理者が変わりますが、持続可能な運営を目指して管理者と協議を重ねます。

指摘　施設と駐車場を有効活用して、来場者の増加につなげること。



駐車場・庭園整備も完了した中島家住宅



農林業振興課

有害鳥獣対策において、令和7年度の有害鳥獣の捕獲数は前年度より減少しているが、被害額は減少していません。

指摘　農作物被害は、各地で発生している。引き続き対策をすること。

道路整備課

除草作業は、緊急性の高い箇所への優先的な対応等を行い、維持管理の徹底を図っていきます。

指摘　日々の巡視・除草作業は努力が認められる。今後も県等に積極的に要望活動を行うこと。

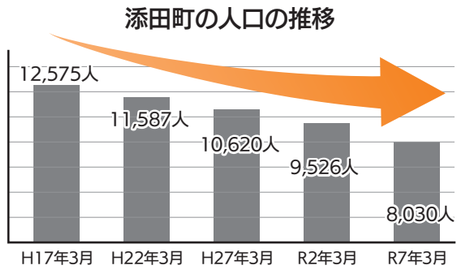


適切な道路維持を（添田駅付近）

審査を終えて

決算審査では、昨年の予算執行が適正であったか、細かい部分まで審議を行い、問題点を指摘しました。

今後も人口減少による減収や、大型事業の起債償還などもあり、厳しい財政運営が予想されます。議会としても責任をもって、監視機能を高めていきます。





一般質問 町政を問う!!

氏　名	質問項目	ページ数
吉木　清文	●添田町の選挙　投票日の変更を ●畑谷川・不動川の浚渫工事	7ページ
山本　徳和	●住み続けられる町づくりの推進	
田中　嘉	●英彦山山頂美化ボランティア支援 ●小中学校の送迎バス利用条件	8ページ
中嶋　浩二	●ワンヘルス啓発施設 ●予算編成に向けての提言	
永沼　嘉代子	●子どもの権利を平等に ●災害対策の強化を ●コミュニティーセンターを旧添田小に	9ページ
藤川　徹	●旧小学校を子どもの居場所に	
武貞　誉裕	●ふるさと納税を増やす取組は	10ページ

※一般質問とは、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、議員が広く町政全体のことについて町に対して説明を求めたり、疑問を聞くことをいいます。
- ●内容を掲載しています。
- ●内容の掲載はありません。動画ではすべてご覧いただけます。

まちの未来がよくみえる👀
議会や委員会の傍聴においでください
次回の定例会は12月です

詳しい日程は議会ホームページで確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

お問い合わせ　議会事務局　TEL 82-4001（直通）

傍聴受付方法　役場3階の議会事務局にお越しの上、傍聴申込書に住所・氏名を記入ください。

添田町議会HP
二次元コード

吉木清文議員

問　添田町の選挙　投票日の変更を

動画へGO



書記長　町独自の判断では変更できない

吉木　今年の選挙も豪雨、猛暑、災害が発生する中で行われました。このような過酷な気象条件の中で、選挙を行わなければならないのでしょうか。

　有権者の投票行動や選挙活動、さらには災害対応の観点から、大きな課題があるのではないですか。

選挙管理委員会書記長　町議会議員の任期満了は7月21日で、町長の任期満了は8月21日と接近しています。そのため両選挙を同時に執行しています。

　この制度は、有権者の投票負担を軽減するとともに、選挙費用を削減することを目的としています。なお、投票日の変更については、公職選挙法があるため、町独自で変更はできません。

吉木　この時期の選挙は適していないと思います。時期を変更できる手立てが見つかれば、するべきだと考えます。



その他の質問
・畑谷川、不動川の浚渫工事

山本徳和議員

問　住み続けられる町づくりの推進

動画へGO



町長　住民と一緒に考えていく

山本　買い物や通院など、自由に移動できるようにするための地域公共交通の再構築や、通院支援サービス等、どう考えていますか。

町長　公共交通で全てをカバーできるかというと、なかなか厳しいものがあります。しかし、地域の方の声がより多く届くように、また地域の中でどう支えていくのか、自分たちの未来をどうつくるか、みなさんと一緒に考えようと思っています。

山本　スーパー等で購入する10ℓ位のレジ袋が、燃えるゴミ用の袋として活用できるようにすれば、なかなか一杯にならなくて困っていた問題も解消されるのではないですか。

町長　ひとり暮らしの世帯が全世帯の50％を超えています。衛生環境のことも考えると、ごみ袋（小）は製作の方向で考えます。

山本　住民の声を聴く場として、また意見交換をする場として「町政出前座談会」を各地区で行ってはどうですか。

町長　できれば、各行政区を対象範囲として、34行政区を今年度内に実施したいと思っています。


思いや願いを町政に!



田中 嘉議員

問 英彦山山頂美化ボランティア支援

動画へGO

町長 **新たな仕組みで支援を検討する**

田中 英彦山の山頂に大量のごみが堆積しています。過去、参拝者や登山者等によって放置されたゴミは、ボロボロに腐敗し生物も棲めない状態です。

現在、町外の方が発起人となり、地元の方々を含めた「英彦山山頂美化プロジェクト」のボランティアを展開しています。山頂から推計500トンのごみを搬出する活動は、多くの労力と期間を要します。美しい英彦山を取り戻すため、更なる支援が必要ではないですか。

町長 ボランティアの皆さんには、心から感謝を申し上げます。

町ではゴミ回収等を行っていただいている団体等にボランティア袋を無料で提供しています。当プロジェクトには、昨年10月から1770枚のボランティア袋をお渡ししており、既に代表者に会って、意見交換をしました。

財源は限られていますので、ふるさと納税をプロジェクト毎に使うなど、一般財源以外で準備できるような仕組みを考えていきます。



ゴミを背負って搬出

その他の質問

・小中学校の送迎バス利用条件



中嶋 浩二議員

問 ワンヘルス啓発施設

動画へGO

町長 **フォレストアドベンチャーはワンヘルス関連事業ではない**

中嶋 県議会でワンヘルス関連事業が問題になっています。予算が膨らみ県民から疑念を招いています。本町のフォレストアドベンチャーはワンヘルス啓発施設認定第1号となっており、内外より複数の批判や問い合わせがあると聞いています。ワンヘルス認定のプロセス、県からの補助金の有無などを説明してください。

町長 フォレストアドベンチャーの設置補助金は、日田彦山線沿線地域振興事業費補助金を活用しており、ワンヘルス関連事業という位置付けでは行っていません。県からの補助金としては、ワンヘルス啓発看板設置費用として21万1千円を利用しました。ワンヘルス研修の場として827人を受け入れ、多くの人に啓発を行ってきました。ワンヘルスの名が付いていることで迷惑を受けていますので、町としても支援していきたいです。

中嶋 色々な疑念や批判がある中、風評被害を防ぐため町のホームページや町報にこの情報を掲載してはどうですか。

町長 今のところ、その考えはありませんが、事業者から要望があれば検討します。



フォレストアドベンチャー・添田

その他の質問

・予算編成に向けての提言



永沼 嘉代子議員

問 子どもの権利を平等に

動画へGO

町長 **条例・要綱等調査し子どものサービスを使える方向に**

永沼 親の経済力や過失（税金滞納）によって教育の機会が奪われる、これは教育の格差、不平等ではないかと考えます。

田川市郡実施の病児・病後児保育制度の補助申請時に「税金の滞納のない世帯」とあります。

また奨学金制度、給付型・無利子型のいずれにも「町税その他の使用料の滞納がないこと」とあります。この文言によって子どもの人権が守られていないのではないですか。

町長 「義務を果たす」ことと「権利を使う」ことは基本別の事象です。義務を果たしていないと権利が使えないということがないようにと思っています。

添田町の給付型奨学金の要綱は、田川市郡では基本統一され「ただしその情状を考慮し特別認める場合もある」とただし書が付いています。病児・病後児保育の要綱にはただし書がないので、町全体の条例などを全て調査し、ただし書を加えるようにし、子どもの権利・サービスが使える方向で整えていきたいと思います。



その他の質問

・災害対策の強化を

・コミュニティーセンターを旧添田小に



藤川 徹議員

問 旧小学校を子どもの居場所に

動画へGO

町長 **地域と対話し、活用を検討**

藤川 令和7年の小学校統合で、各地域から子どもが集まり、遊べる場が失われました。閉鎖中の旧5小学校のグラウンドを、安全を確保した上で、子どもの遊び場や地域の広場として開放できませんか。

また、住民や子どもの声を聴き、跡地活用を話し合う場を設ける考えはありますか。

町長 無断利用やごみの放置、校舎への侵入などがあり、安全管理のため、現在は行政や地域行事などに利用を限っています。

地域と利用時間や管理、事故時の対応などのルールを話し合い、子どもたちのために納得できる使い方を考えます。

跡地活用も地域との対話を重ね、協議の具体的な日程は、まだ決まっていませんが、町の関係課が連携して取り組んでいきます。



使われていない旧添田小学校



武貞（たけさだ） 誉裕（たかひろ）議員

問 ふるさと納税を増やす取り組みは

町長 さらに魅力を発信したい

武貞 添田町の財源は、それほど余裕がありません。この財政を増やすには、ふるさと納税は一つのポイントだと思っています。

しかし本町のふるさと納税額は、なかなか伸び悩んでいるのが現状です。ふるさと納税額を増やす取り組みはありますか。

町長 ポータルサイトの数や、レビューをどうやって上位に持っていくか、委託業者と一緒に考えたいです。また、英彦山ブランドをはじめ、地域固有の産品を、他にはないところを強みとして、どう売出していくかというところです。

これは仮称ですが「ふるさと納税応援隊」に住民の皆様にも、なっていただくつもりで、町外の親戚の方や知り合いの方に「うちのふるさと納税をよろしくね」と、言えるような環境をつくりたいです。

もちろん私自身が、魅力を発信するトップセールスマンになって、頑張っていきたいと思っています。



ふるさと納税の増加と添田産品のアピールを

議長ノート


議会の代表として、活動報告をお届けします（畠田）

山々が色鮮やかに紅葉し、朝晩は肌寒くなってまいりました。

新しい議会がスタートして3か月が過ぎ、ようやく軌道に乗った感じがします。1人でも多くの住民の声に耳を傾け、執行部とともに住民福祉の向上に努めます。


県議長会会長として挨拶する畠田議長

主な活動

7月
7月27日 …介護保険広域連合田川・桂川支部運営委員会（田川市）
7月28日 …町村議会常任・議会運営委員長・副委員長研修（福岡市）
…田川地域国道整備促進期成会要望（福岡市）
…田川直方線延伸整備に関する要望活動（福岡市）

8月
8月 4日 …介護保険広域連合職員との打合せ
8月 6日 …田川地域国道整備促進期成会要望（東京都）
8月10日 …福岡県介護保険広域連合議会定例会（福岡市）
8月17日 …添田町農業近代化施設運営委員会
8月18日 …町村議会議員研修会（福岡市）
8月27日 …町村議会1期目議員等研修会（福岡市）

9月
9月10日 …交通事故を無くす添田町民運動本部会議
9月17日 …田川郡町村議会議長会議（田川市）

10月
10月 5日 …福岡県市町村職員退職手当組合議会臨時会（福岡市）
10月 6日 …田川IR事業に係る記者会見（田川市）
…大島道人県議会議長激励会（香春町）
10月13日 …全国町村議会議長会理事会（東京都）
…九州各県町村議会議長会協議会（東京都）
10月14日 …全国町村議会議長会都道府県会長会（東京都）
10月18日 …香春町合併70周年記念式典（香春町）
10月20日 …福岡県町村議会議長会正副会長会議（水巻町）
…福岡県町村議会議長会理事会（水巻町）
10月22日 …人権・同和問題研修大会（田川市）

研修

未来をつくる学び 議員研修リポート！

委員長・副委員長研修会 7/28

福岡県町村議会議長会主催の研修会に参加しました。

「委員会審議・審査の活性化」をテーマに、限られた時間の中で議論を深めるための委員会運営や、効率的な議会運営を学びました。


委員会の運営の基本を学びました

町村議会議員研修会 8/18

「議員報酬の適正化」をテーマに、人口減少や地方議会のなり手不足を解消するための多様な人材の参画、そして住民への情報公開の重要性などを学びました。


全国の議会の状況を確認しました

一期目議員等研修会 8/27

塩塚公認会計士事務所の塩塚正康氏を講師に「地方公会計の基礎的知識」という演題で、議会運営の基礎や予算・決算の読み解き方など、議員の職責を果たす上で不可欠な基礎知識を体系的に学びました。


予算・決算の基礎を学びました

一期目議員等研修会を終えて




議員として学ぶべき事や責任の重さを実感しました。より努力していきたいと思いました。（川面）


議員としての仕事や責任に関して、より理解を深めました。より良い町づくりに活かしていきたいと思います。（杉本）


なじみの薄い専門用語や、議員として留意する視点等を学ぶことができました。（田中）


初心を忘れず、皆さんの声を町政につなげられるよう、学び続けていきたいと思います。（藤川）

研修

手に取り「読んでもらえる」議会広報紙を目指す

8月28日、町村議会広報研修会が東京で行われました。どうすれば手に取って読んでもらえる広報紙になるか等を学びました。

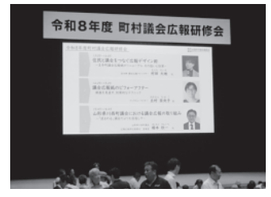
研修内容

講師 村田 大地氏
あなたと議会をつなぐガイドブック
ポイントはココ！
- 広報が変わることで議員の行動が変容
- 地域取材、議員間討議
- 政策立案

講師 丘村 奈央子氏
読み手とつながる「3つのステップ」
ポイントはココ！
- 手に取りたいデザイン
- 読んでもらえる見出し
- 分かりやすい情報

講師 橋本 欣一氏
厳格なプロセスが「読まれる議会」を創る
ポイントはココ！
- すべての工夫は、町民がポストを開けた瞬間に「読みたい」と思わせるために
- 議会広報モニター制度の必要性





視察受入

九重町議会が添田で学ぶ

9月30日、大分県九重町議会、議会広報特別委員会の5名が視察に訪れ、広報広聴常任委員会と意見交換をしました。

添田町議会広聴委員会が作成した「広報マニュアル」を元に研修を行いました。

本町としても、九重町の広報委員から様々な質問を受けることで、広報紙の作成ポイントを再確認できる、新たな学びに繋がりました。



マニュアルの必要性が分かった、目からウロコの研修でした（九重町議会）

第8回

住民と議会のカタリ場～未来会議～

11月14日（土）18時30分からオークホールで開催します



昨年のカタリ場の報告書はこちら

テーマ 「どんな添田町にしたい？」
教育・観光・福祉・防災・農業に関して、あなたの想いをお聴かせください。

対　象 興味のある方はどなたでも（町外者も可）

申込方法 スマホやパソコンもしくはお電話（82-4001）にて受付しています。
※お電話の場合は土日祝を除き平日17時までにご連絡ください。

スマホ・タブレットからの申し込み方法はこちら



1.氏名を入力



2.住所を選択



3.電話番号を入力し「確認」



4.変更がなければ「回答」



5.申し込み完了

